

診療実績(精神科)

外来患者数

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
外来新規患者数	864	929	856	856	860
紹介患者数の割合	470/864=54.4%	525/929=56.5%	458/856=53.5%	446/870=51.3%	492/860=57.2%
退院患者数	145	132	150	170	170
内訳					
直接受診患者数	394	404	398	388	368
院内他科依頼患者数	353	375	295	298	336
他院依頼患者数	117	150	163	90	156
直接受診患者の疾患別割合					
F0 症状性を含む器質性精神障害	38	54	93	102	84
F1 精神作用物質使用による精神行動の障害	2	4	5	6	9
F2 統合失調症、統合失調型障害および妄想性障害	15	8	7	11	6
F3 気分(感情)障害	52	48	44	50	33
F4 神経症性障害、ストレス関連障害および身体化障害	258	257	231	152	139
F5 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	5	-	-	25	23
F6 成人の人格および行動の障害	2	8	14	12	6
F7 精神遅滞	4	10	4	3	6
F8 心理的発達の障害	1	-	1	3	7
F9 小児期および青年期に通常発症する行動および情緒障害および特定不能の精神障害	-	4	1	1	1
G4 てんかん	16	4	2	3	4
その他	1	-	-	-	49
院内他科依頼患者の疾患別割合					
F0 症状性を含む器質性精神障害	104	125	103	135	168
F1 精神作用物質使用による精神行動の障害	15	18	11	10	10
F2 統合失調症、統合失調型障害および妄想性障害	14	19	17	9	13
F3 気分(感情)障害	31	48	37	29	27
F4 神経症性障害、ストレス関連障害および身体化障害	160	161	105	63	78
F5 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	9	-	5	14	18
F6 成人の人格および行動の障害	3	5	10	4	7
F7 精神遅滞	3	1	1	3	5
F8 心理的発達の障害	1	4	2	2	2
F9 小児期および青年期に通常発症する行動および情緒障害および特定不能の精神障害	-	3	-	-	-
G4 てんかん	13	5	6	-	4
その他	-	-	-	-	16
他院依頼患者の疾患別割合					
F0 症状性を含む器質性精神障害	20	38	28	41	45
F1 精神作用物質使用による精神行動の障害	3	5	5	5	4
F2 統合失調症、統合失調型障害および妄想性障害	17	20	22	8	13
F3 気分(感情)障害	25	21	31	30	26
F4 神経症性障害、ストレス関連障害および身体化障害	45	54	68	39	53
F5 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	-	1	-	-	6
F6 成人の人格および行動の障害	3	11	12	4	8
F7 精神遅滞	1	-	1	1	5
F8 心理的発達の障害	1	1	2	-	3
F9 小児期および青年期に通常発症する行動および情緒障害および特定不能の精神障害	-	-	-	-	-
G4 てんかん	2	4	4	2	4
その他	-	-	-	1	9
退院患者の疾患別割合(総数 人)					
F0 症状性を含む器質性精神障害	18	24	22	26	33
F1 精神作用物質使用による精神行動の障害	3	4	2	4	10
F2 統合失調症、統合失調型障害および妄想性障害	44	41	58	68	66
F3 気分(感情)障害	38	44	44	35	30
F4 神経症性障害、ストレス関連障害および身体化障害	36	13	13	21	8
F5 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	2	1	3	8	5
F6 成人の人格および行動の障害	-	-	1	4	3
F7 精神遅滞	2	2	6	2	6
F8 心理的発達の障害	-	-	-	-	3
F9 小児期および青年期に通常発症する行動および情緒障害および特定不能の精神障害	-	-	-	-	-
G4 てんかん	2	3	1	2	2
その他	-	-	-	-	-